

会 議 録

会 議 名	令和５年度第２回東浦町高齢者福祉推進協議会	
開 催 日 時	令和５年１１月６日（月） 午後１時３０分から２時３０分	
開 催 場 所	東浦町勤労福祉会館２階第１会議室	
出 席 者	委員	阿部知司氏、安田裕政氏、富永凡人氏、舟橋弘芝氏、恒川渉氏、小西愛弓氏、日高啓治氏、下村卓也氏、吉田禎宏氏、加藤美年子氏、鈴木洋子氏、宮池始氏、小田友武氏、蟹江毅弘氏
	事務局	鈴木健康福祉部長、内田ふくし課長、植田ふくし課地域包括ケア推進係長、森ふくし課社会高齢係長、成田健康課成人保健係長、鈴木ふくし課主事、高見東浦町社会福祉協議会事務局長、鈴木東浦町社会福祉協議会統括係長兼地域福祉係長
欠 席 者	仮屋賢治氏、山崎紀恵子氏、田近美由紀氏	
議 題 (公開または非公開の別)	１ あいさつ ２ 議題 （１）第９期東浦町高齢者福祉計画の策定について （２）第９期高齢者福祉計画の策定スケジュールについて ３ その他	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—	
傍聴者の数	０名	
審 議 内 容 (概 要)	議題の審議内容は別紙のとおり	
備 考	—	

【議事要約】

開会

事務局	傍聴者の確認、欠席者及び会議成立の確認、開会、資料の確認
-----	------------------------------

あいさつ

健康福祉部長	健康福祉部長よりあいさつ
--------	--------------

議題

(1) 第9期東浦町高齢者福祉計画の策定について

事務局	第9期東浦町高齢者福祉計画素案について、事務局より説明。 - 第1章「計画の策定にあたって」では、国の動向、計画の位置付け、計画の期間を記載している。老人福祉法に基づく計画であり、第6次東浦町総合計画及び第2次東浦町地域福祉計画を上位計画と位置付けるとともに、知多北部広域連合が作成する第9期知多北部広域連合介護保険事業計画との整合性を図る。 - 第2章「高齢者の現状と推計」では、東浦町の高齢者人口の推移について、知多北部広域連合管内合計、愛知県、全国の数字との対比を記載するとともに、今後の推計値を記載している。 - 第3章「基本的な考え方」では、計画の基本理念、基本目標、SDGsとのつながり、施策体系を記載している。基本理念については計画の継続性の重要性を考え、第8期計画でも基本理念であった「高齢者が健康でいきいきとあんしんして地域で生活できるまち」を踏襲している。 そして、基本目標2において、施策分野・具体的施策に記載している「老人憩の家」に関する表記について、「ゆうゆう憩の家（老人憩の家）」へと変更した。令和4年度より高齢の方のみが利用する施設という誤解を招かないよう、愛称として「ゆうゆう憩の家」という表現を使用しており、本町としても本愛称を広めていくことを目指したものである。 - 第4章「施策の展開」では、それぞれの基本目標及びそれに付随する施策分野・具体的施策について記載している。 - 第5章「計画の推進に向けて」では、第9期東浦町高齢者福祉計画の進行管理について記載している。
-----	--

質疑

委員長	議題（１）について、委員より何か意見、質問はあるか。
委員	介護報酬の改定について、知多北部広域連合の第９期介護保険事業計画との整合をどのように図っていく予定か。
事務局	知多北部広域連合が現在策定をしている第９期介護保険事業計画の中で介護報酬の改定の話は出ているが、詳細の内容については具体的に決まっていないと知多北部広域連合より説明を受けている。 今後、各事業者が介護報酬の改定を受けて、事業の見直し等により計画に反映させる必要があれば、次回以降の計画改定の確認の中で見直しをしていく。
委員	個別避難計画の策定とあるが、現在の策定状況と計画期間内にどのくらいの策定を見込んでいるか。
事務局	個別避難計画の現在の作成件数は３件であり、計画期間内の作成見込みについては、今年度１００件、来年度と再来年度それぞれ２００件を目標としており、ハザードエリアなどの危険性の高い地域に住む方から順次作成をしていく。
委員	ひとり暮らし高齢者等見守りについて、現在は電話掛けによる見守りを行っているが、以前はヤクルトを配付により見守りを行っていた。電話掛けよりも対面して見守りを行った方が高齢者に優しい街だと思う。
事務局	ひとり暮らし高齢者等見守りについては、令和５年度の上半期で実利用者実績は３１名となっている。 ヤクルトの配付事業は以前行っていたが、近隣市町の状況や安否確認を行うことを最優先に考えた結果、現在のシルバー人材センターに委託しての電話掛けとなった。今回の意見を参考に今後の事業の在り方を検討していく。
委員	介護予防・生活支援サービス事業について、通所型サービスＡの近年の利用者推移を見ると増加傾向であるが、私の印象としては停滞しているように感じる。通所型サービスＡについては人員不足や採算が取れていないため、事業自体の方向性として町の見解は。
事務局	住民の利便性を考慮し、利用できるサービスの種類が多い方が好ましいということで事業を開始したが、今後の方向性については事業者と話し合いの上考えていく。

(2) 第9期高齢者福祉計画の策定スケジュールについて

事務局	資料2に沿って説明
-----	-----------

その他

委員長	今回の計画策定についての意見、要望等はあるか。
(一同)	なし。

閉会

事務局	(閉会)
-----	------